

1 審議会名	上田右岸地域協議会
2 日時	令和4年7月25日 午後1時30分から午後4時00分まで
3 会場	中央公民館発 現地視察
4 出席者	天田委員、上原委員、永本委員、窪田委員、黒木委員、駒崎委員、小林委員、塩入委員、清水悟委員、竹内委員、田中委員、橋詰委員、平澤委員、宮下委員、柳澤委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】星野中央地域振興政策幹、小山西部地域振興政策幹、依田豊殿地域自治センター長、馬場地域振興政策幹、片山地域内分権推進担当係長、近藤地域内分権推進担当、腰原地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年7月28日

協 議 事 項 等

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 中央地域現地視察

(視察先)

①点字図書館

点字図書館職員から説明

以下、質疑応答

(委員)こちらに所蔵されている本は点字が両面にされていて、突起のある方は読めるが、反対側は凹んでいるから読めないため、認識しないということでしょうか。

(点字図書館)はい。また、行をずらすことで両面打ちが可能になっている。そうすることでページ数を減らすことができる。

(委員)直近で見学に来た小学校はどこか。

(点字図書館)コロナ禍になってから見学はないが、それ以前は上田市立東小学校、塩田西小学校、和田小学校からも来られて、点字を打つ勉強や、施設見学をしていた。

今は小学4年生の教科書に、フランスの点字を考案された方のことが載っているようで、その単元も関連させて当館に見学にいらっしゃる。

(委員)点字図書館は上田の他に、県内ではどこにあるか。

(点字図書館)長野県で点字図書館と銘打っているのは当館のみである。県内でも障害者ライブラリーとして、点字の本やデージー図書を作って置いている公立図書館もある。

(委員)昭和49年にこの場所に移設したということだが、昔は上田市立第二中学校の前になかったか。皇太子

と美智子様が来るということで、見学に行った記憶がある。

(点字図書館)ここに移設される前は、今の上田市立第二中学校の前に建っていた。皇太子と美智様に来てくださり、その日のことも日誌に記録されている。

(委員)点字図書館の設置主体や運営主体は県になるのか、それとも上田市になるのか。

(点字図書館)設置主体は長野県身体障害者福祉協会、運営を任されているのが上田市である。

(委員)ボランティアの方の登録者数はどのくらいか。

(点字図書館)点訳者は長野県中において、現在活躍中の方は50名弱である。県内の方で、通信教育という形で勉強して点訳者を目指している方が70名程いる。デイジー図書については、下諏訪町立図書館、飯田市立中央図書館、上田市立上田図書館など、長野県の各図書館の協力を得て蔵書を作っていただいている。

②ふれあい福祉センター

(1)上田市社会福祉協議会のフードドライブ事業について

上田市社会福祉協議会 萩原地域福祉推進課長から資料を基に説明

(2)おけまる食堂の活動について

おけまる食堂実行委員会 小林様から資料を基に説明

以下、質疑応答

(委員)フードバンク・フードドライブ事業で、学生やひとり親世帯を対象として行われているのはよく耳にするが、高齢者を対象としたフードバンクは無いのか。

(社会福祉協議会)食糧配布会の切り口は学生やひとり親世帯を対象に行っているが、基本的には生活に困っている方にお声掛けしている。昨日(7月24日)開催した配布会に105の方が来られたが、もぐサポ会員(ひとり親世帯)の方が34名、学生が9名、それ以外の方が高齢者を含めて62名であった。配布会を開催すると、高齢者の方がたくさん来てくださるイメージがある。

(委員)先日、高齢者の方がお伺いしてもよいか問い合わせたところ、学生がメインだと言われて案内するのを辞めてしまった。どのような情報を流せばよいのか。

(社会福祉協議会)配布会に関しては、社会福祉協議会の広報紙と信濃毎日新聞にも掲載した。特段、学生に括ってはおらず、生活にお困りの方という形だったので、職員の方で、夏休み直前の配布だったため学生対象という印象により、そのような回答をしてしまったのかもしれない。内部で調整させていただきたい。

(委員)あくまでも食品ロスがメインで行っているということで、食糧支援というものではないのか。

(社会福祉協議会)食品ロスからつながる地域づくりという部分も含めて、生活に困っている方への支援、福祉という部分からすると、食糧支援の視点も持っていないといけないところもあると思うので、食品ロスと

食品を必要としている人を上手く結びつけられる活動に出来れば一番よい。

食品ロスという問題はあると思うので、是非ご家庭に余っているものを寄附していただき、必要としている人たちに渡せる架け橋になればよいと思う。食品ロスが出なければそれが一番よいが、世の中には食品を必要としている方が大勢いるのが事実である。

(委員)企業で日置電機さんの名前が挙がっていたが、日置電機さん自体は社員に協力をお願いして、食品を集めているのか。それとも会社自体で支援というような形で行っているのか。

(社会福祉協議会)社内に回収ボックスをいくつか置いて、社員の方が自宅に余っているものを入れて、回収日を設定し社会福祉協議会に届けていただくという流れである。

4 その他

次回の開催予定

日時 8月29日(月) 13時30分から

集合場所 豊殿地域自治センター

内容 神科・豊殿地域現地視察

5 閉会